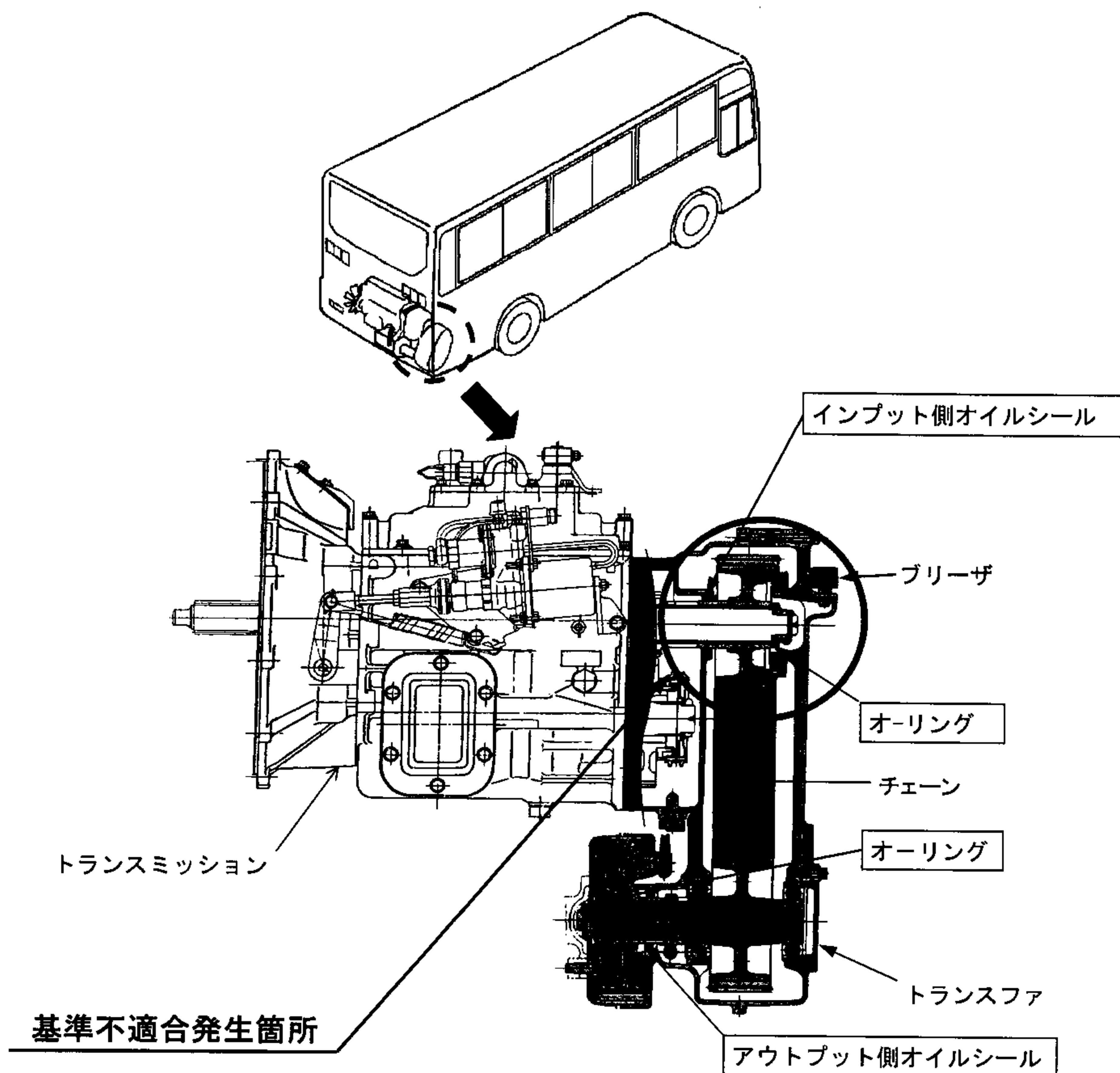


改善箇所説明図



チェーン駆動式動力伝達装置(トランスファ)の、オイルシール及びオーリングの耐熱性が不足しているため、連続高速走行によりトランスファ油温が上昇した場合に、当該オイルシールまたはオーリングが損傷して変速機(トランスミッション)のオイルがトランスファ内に流入することがある。そのため、チェーンの攪拌抵抗増加によって油温が更に上昇して、オイルがブリーザから噴出し、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、オイルシール、オーリングを対策品と交換する。

あわせて、アウトプット側オイルシール、オーリングを対策品と交換する。

注)：□は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、左後部点検リッド裏側上隅に「MB-01」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。